

徳とく泉く寺ほ報う

No.0035

発行
令和2年9月
発行元 徳泉寺
仙台市宮城野区
榴岡3-10-3
(022)297-4248
tokusenzi.sendai@gmail.com

「」報告

秋の法要(共同墓地・ペット墓地合同法要) 勤修

九月二十二日(秋分の日)に、共同墓地・ペット墓地の合同法要が勤修されました。本来なら春に行うところですが今回はコロナウイルス感染予防のため秋のお彼岸まで延期されました。皆様にはご無理のないようご案内し、それでも三十名を超える参拝がありました。

まずは正信偈をお勤めしその後、住職による法話がありました。今回はちようどお彼岸中の法要ということでお彼岸についてのお話でした。

「彼岸」は彼の岸と書き、あちら側、命が還っていくお浄土を表します。そしてまた「西方浄土」と言われるように西にあるとされます。この「西」という字は鳥が巢へ帰ることを表す字だそうです。私たちは夕暮れ、西に太陽が沈むころ家へ帰りますが、命もまた浄土へ還っていくのです。そしてお彼岸には彼の岸へ還った大切な方や命を偲び、「此岸」

此の岸にいる私の命について、亡き方との対話をする機会をいただく、そんな日です。私たちはどんな生活を送っているのか、本当に願っているのはどんなことなのか。私

が安心して立つことのできる場所を、対話から聴いていくのです。



INFORMATION

2020年度報恩講

日 10月24日(土)

時 13時~15時頃

場所 徳泉寺本堂

内容 勤行・法話

講師 小野和徳氏

(若林区浄澤寺住職)

持ち物 念珠

今年度はお齋ときがありません。

ご了承ください。

重要

報恩講について

毎年十月二十四日、徳泉寺としては最も大切に行っているお講として親鸞聖人のご命日法要である報恩講が勤修されます。これは、宗祖親鸞聖人のご命日を縁として、仏の教えが私まで届いたことを感謝し、私の生き方をもう一度見つめる一日です。前日からご門徒のみなさんで用意したお齋(お食事)をいただき、特別なお勤めをして法話を聴く、真宗門徒にとっては一年の始まりの日とも言われます。

この報恩講も今年度は新型コロナウイルス感染予防のため、縮小して行うことになりました。楽しみにしていたらいたるお齋ですが今年度は取りやめ、勤行と法話のみとなります。お齋のレシビがありますので代わりにご家庭で再現してみたいかがでしょうか。ご興味ある方はお問い合わせください。感染予防に努めて挙行しますが、ご参詣のみなさまも予防対策をしてご無理ないところでご参列いただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。